

ジェネリック医薬品って?



そもそもジェネリック医薬品(後発医薬品)とは?

新薬(先発医薬品)の特許が切れた後に製造販売される、新薬と同じ有効成分を同じ量含み、同等の効き目を持つ、低価格なお薬です。

Q どうして安いの?

A 開発に必要な期間や経費を大幅に抑えられるからです。

新薬(先発医薬品)の開発には、15～20年もの年月と200～300億円以上もの投資が必要だといわれています。それに対し、ジェネリック医薬品の開発期間は約3～4年。開発期間や経費を大幅に抑えられるため、一定のルールにより安く設定され、先発医薬品の約2～7割の価格になるのです。

Q 効き目や安全性は安くても大丈夫?

A 先発医薬品と同じ有効成分。長年の使用で確認済みです。

その有効性や安全性は、同じ有効成分を持つ先発医薬品が医療現場で長年使用されていることで確認済み。品質については、製造する工場に対して都道府県が定期的に査察を行い、医薬品の製造管理及び品質管理に関する基準に適合していることを確認しています。また、医薬品の承認等を司る独立行政法人医薬品医療機器総合機構では、ジェネリック医薬品品質情報の検討を行い、品質の確保を行っています。

ジェネリック医薬品は 家計と未来にやさしいお薬です

1

あなたの飲んでいるお薬を「ジェネリック医薬品」に変えることで
いつものお薬代を安くすることができます。

- 経済性に優れ、負担額が軽減できます。
- 有効性、安全性は新薬と同等です。
- 錠剤の大きさを小さくするなど
優しい製剤工夫がされているお薬もあります。



* * かんたん差額計算 * *

いつものお薬を「ジェネリック医薬品」に変えたらどれくらい安くなるか、
スマートフォンのカメラを使って右のQRコードを読み取り確認してください→
単純に薬価だけで計算しております。



日本ジェネリック製薬協会 HP

2

国民皆保険制度を将来にわたって維持するために
ジェネリック医薬品の使用が必要です。

国民皆保険制度とは、国民全員が公的な医療保険を通じて安い医療費で高度な医療を受けられる制度のこと。

しかし、急速な少子高齢化等によりその制度自体がゆらぎ始めています。制度を維持するためにはみんなで医療費節減に取り組まなければなりません。

自己負担の軽減だけではなく、将来の世代にその負担を先送りしないためにもジェネリック医薬品の使用が求められています。



2065年



2.1人で1人



1.3人で1人

ジェネリック医薬品に切り替えられるものを
すべて変更した場合、節約できる医療費

約1兆9千億円

出典：日本ジェネリック製薬協会

医療機関・薬局にかかった際には、

私の飲んでいるこのお薬に「ジェネリック医薬品」はありますか？
と尋ねてみてください。



自身のお財布のために、将来を生きる子供たちのために。

山口県ジェネリック医薬品等安心使用促進協議会

山口県健康福祉部薬務課（薬事班） ☎083-933-3020



一般社団法人 山口県薬剤師会

更新年月日 2025年9月